



学校教育目標

児童生徒一人一人の心身の状態の理解のもとに、その能力や適性に応じた発達を支援し、社会の一員として生涯にわたって豊かな力を持ち、意欲的に生きる力を備えた児童生徒の育成を目指す。

自立

意欲

思いやり

目指す学校像

- ☆子どもの能力を伸ばし、可能性を大切にできる学校
- ☆子どもの気持ちを大切にできる学校
- ☆地域の特別支援教育について共に考え、地域のニーズに応える学校

育成を目指す資質・能力

- 言葉の働きや役割に関する理解
- 生活に必要な習慣・技能
- 望ましい食習慣
- 社会生活やきまりについての理解
- 運動への親しみ
- 仕事への関心
- 自己の感情をコントロールする力
- 自己の気持ちを表す力
- 安全のための行動
- 自然や音楽を愛する心情
- 生命を尊重する心
- 他者を思いやる心

学校経営方針

心豊かに生き生きと学ぶ子ども

- ①カリキュラムマネジメントの推進
- ②人権の尊重
- ③実態把握に基づく具体的な目標設定
- ④「個別の指導計画」の活用
- ⑤主体的な学びを促す授業
- ⑥「生きる力」を育む健康づくり

家庭・地域・関係機関と共に歩む学校、社会に開かれた教育課程

- ①「個別の教育支援計画」による家庭や地域、関係機関との連携・協働
- ②学校評価制度や学校運営協議会等を通じた学校経営の改善
- ③地域での共生を見据えた交流
- ④関係機関との連携と特別支援教育への理解・啓発
- ⑤積極的な外部への発信

安全で安心な教育環境

- ①危機管理の意識高揚と防災体制の整備
- ②科学的・専門的知見に基づいた危機管理への対応
- ③児童生徒の配慮事項の正確な把握と健康観察
- ④円滑な医療的ケア業務の遂行
- ⑤児童生徒への安全教育

学校教育に責任と誇りをもって働く教職員

- ①教育公務員としての責任と自覚
- ②人権尊重の理念の理解と体得
- ③心身の健康の保持・増進
- ④教職員相互の協力体制と職場環境づくり
- ⑤業務の改善や効率化、ワークライフバランスの確立
- ⑥ICTの活用や教材・教具の開発による授業の工夫

本年度の重点(一部)

- 「あいさつ」や感謝の気持ちを伝える指導
- ICTの活用
- 持続可能な開発目標(SDGs)への取組
- 適切なアセスメントに基づく指導
- 感染症流行期における実施方法や指導の工夫
- 交流活動の推進
- 自己肯定感を高めるキャリア教育
- 安全教育
- 組織能力と個人の専門性・指導力の向上
- 学校情報の発信